

べにばないんげんのマメノメイガ（新寄主）

令和6年7月下旬に中央農業試験場（長沼町）で栽培していたべにばないんげんの花房および莢にノメイガ類幼虫の寄生が確認された。また、9月中旬には十勝地方のべにばないんげんほ場で、莢に寄生するノメイガ類幼虫が確認され、いずれも羽化成虫の形態からマメノメイガ *Maruca vitrata* (Fabricius) と同定された。本種は道内では越冬しないと考えられる。

道内で莢を食害するノメイガ類にはアズキノメイガが知られるが、本種とアズキノメイガを食害痕のみから区別することは困難であり、令和6年に寄生が確認されたほ場では両種が混発していた。

（中央農試・十勝農試・十勝農業改良普及センター十勝東部支所）



マメノメイガ幼虫（中央農試 荻野 原図）